

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名		臨床柔道整復学・各論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎302
担 当 教 員		川村 智広	実務経験と その関連資格	2011年から2022年まで、鍼灸接骨院の院長として勤務。 柔道整復師、柔道整復師専科教員、鍼灸師、日本スポーツ協会公認アスレティック トレーナー、講道館柔道初段			
《授業科目における学習内容》							
下腿遠位部・足根骨の骨折、股関節の軟部組織損傷、大腿部の軟部組織損傷、膝関節部の軟部組織損傷についてを、柔道 整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)および柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集)を用いて学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》							
前期試験にて記述試験を行う。前期試験評価:100%							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集) 【参考図書】 解剖学(全国柔道整復学校協会編集)							
《授業外における学習方法》							
事前に教科書内容の確認をとること。また、配布プリントの復習をおこなうこと。							
《履修に当たっての留意点》							
教科書、配布プリントは必ず持ってきてください。国家試験合格に向けて一緒に頑張ってください。							
授業の 方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	果部骨折 - 外転型について理解する。		教科書 配布プリント	今回の講義範囲の予習 をしておくこと。	
		各コマに おける 授業予定	下腿骨遠位端部骨折および足関節の脱臼骨折				
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	果部骨折 - 内転型、軸圧型について理解する。		教科書 配布プリント	前回の講義内容の復習 と今回の講義内容の予 習をしておくこと。	
		各コマに おける 授業予定	下腿骨遠位端部骨折および足関節の脱臼骨折				
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	距骨骨折、踵骨骨折について理解する。		教科書 配布プリント	前回の講義内容の復習 と今回の講義内容の予 習をしておくこと。	
		各コマに おける 授業予定	足根骨骨折				
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	舟状骨骨折、立方骨骨折、楔状骨骨折について理解する。		教科書 配布プリント	前回の講義内容の復習 と今回の講義内容の予 習をしておくこと。	
		各コマに おける 授業予定	足根骨骨折				
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	中足骨骨折、足指骨骨折について理解する。		教科書 配布プリント	前回の講義内容の復習 と今回の講義内容の予 習をしておくこと。	
		各コマに おける 授業予定	中足骨骨折、足指骨骨折				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	鼠径部痛症候群、股関節唇損傷、弾発股について理解する。	教科書 配布プリント	前回の講義内容の復習と今回の講義内容の予習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	股関節部の軟部組織損傷		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	前半履修内容の国家試験に準じた問題が解けるようになる。	教科書 配布プリント	前期前半の講義内容の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	前期前半履修内容の復習を行う。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	梨状筋症候群、股関節拘縮、乳幼児期にみられる疾患について理解する。	教科書 配布プリント	前回の講義内容の復習と今回の講義内容の予習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	股関節の軟部組織損傷、股関節部の注意すべき疾患		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	思春期にみられる疾患、大腿骨頭壊死症、変形性股関節症について理解する。	教科書 配布プリント	前回の講義内容の復習と今回の講義内容の予習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	股関節部の注意すべき疾患		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿部打撲、大腿部肉ばなれ、大腿部骨化性筋炎について理解する。	教科書 配布プリント	前回の講義内容の復習と今回の講義内容の予習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	大腿部軟部組織損傷、大腿部の注意すべき疾患		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	半月板損傷、靱帯損傷、発育期の膝関節障害について理解する。	教科書 配布プリント	前回の講義内容の復習と今回の講義内容の予習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	膝関節部の軟部組織損傷		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	腸脛靱帯炎、鵠足炎、膝蓋大腿関節障害、膝周囲の関節包・滑液包の異常について理解する。	教科書 配布プリント	前回の講義内容の復習と今回の講義内容の予習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	膝関節部の軟部組織損傷		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経の障害、青少年期にみられる疾患、中高年期にみられる疾患について理解する。	教科書 配布プリント	前回の講義内容の復習と今回の講義内容の予習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	膝関節部の軟部組織損傷、膝関節部の注意すべき疾患		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期後半履修範囲について理解する。	教科書 配布プリント	前期後半の講義内容の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	前期後半復習、四択問題		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	履修範囲の国家試験問題が解けるようになる。	教科書 配布プリント	前期範囲の教科書、配布プリントを見直しておくこと。
		各コマにおける授業予定	総まとめ		